

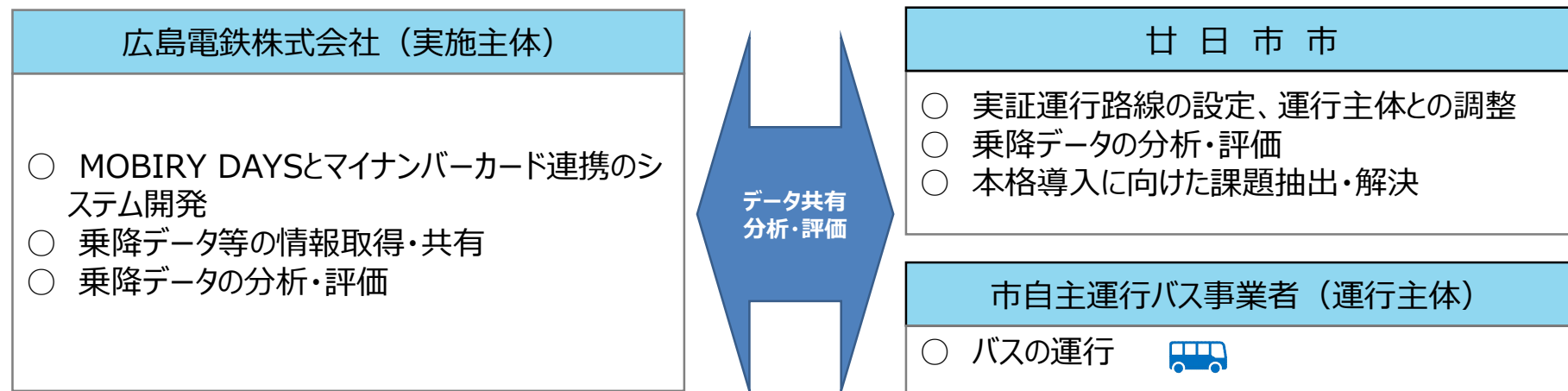
市自主運行バスの高齢者運賃割引実証実験について

デジタル技術を活用して、誰もが利用しやすいモビリティサービスの実現を目指し、市自主運行バスにおいて、マイナンバーカードを活用した高齢者運賃割引の実証実験を行います。

1. 目的

この実証実験は、広島電鉄株式会社と廿日市市、運行事業者との共創により、マイナンバーカードを活用した高齢者運賃割引を実施し、高齢者の外出意欲の向上と外出機会の増加を図り、高齢者の健康増進を目指すものです。

2. 実施体制と役割



3. 対象者

MOBIRY DAYSとマイナンバーカードとの連携を行った70歳以上の廿日市市民の方

4. 割引後の運賃

100円（基本運賃：150円）

5. 割引となるバス路線

市自主運行バス（路線定期運行）の各路線で運賃を割引きます。

- 廿日市さくらバス
- おおのハートバス
- 佐伯さくらバス
- 吉和さくらバス



6. 実証実験期間

令和7年2月1日（土）～令和7年4月30日（水）

7. 利用の流れ

①広電窓口、HPで
MOBIRY DAYS
の登録を行う。



②連携窓口で、自身のマイナンバー
カードとMOBIRY DAYSを
連携する。



③連携されたMOBIRY DAYSを
自主運行バスで利用すると、運賃
が100円になります。



8. 実証実験での検証事項

検 証 項 目		方 法
システム 関 係	・MOBIRY DAYSとマイナンバーカードとのデータ連携手法 ・市外転出等により割引対象外となった方などの情報の反映方法	廿日市市及び広島電鉄 (株)による検証
効 果	・運賃割引による高齢者のバス利用回数の変化や移動状況等の動向 ・利用のしやすさ（バスの乗降、マイナンバーカード連携窓口）	登録者へのアンケート調 査

9. 高齢者運賃割引により期待される効果

- 公共交通の利用により、高齢者の移動が促進され、日常生活の歩数が増加することで健康増進につながる。
- 高齢者の外出意欲の向上につながり、外出機会が増えることで、人との交流が増え、高齢者の社会参加や心の健康づくりにつながる。
- 日常的に歩くライフスタイルへの転換を促し、まちの賑わいや人とのコミュニケーションが促進される。
- 要介護状態の要因ともなるフレイルやロコモティブシンドロームを予防し、健康寿命の延伸につながる。
- 健康増進による医療費等の社会保障費の抑制につながる。

10. 本格導入までの流れ

実証実験

課題検証・解決

本格導入

1 1. MOBIRY DAYSとマイナンバー連携の同時登録会

広島電鉄(株)主催による、MOBIRY DAYSの登録とマイナンバーカード連携が同時にできる登録会を行います。

- ◆ 2月1日(土) ウッドワンさくらぴあ 1階(廿日市市役所 1階) 市民ホール
- ◆ 2月2日(日) フジタスクエアまるくる大野 1階 地域活動室
- ◆ 2月3日(月) 廿日市市役所佐伯支所 2階 会議室

※受付時間は、いずれの会場も10時～16時

1 2. マイナンバーカード連携窓口

- ◆ 宮島口営業センター(広島電鉄(株) 広電宮島口駅構内) : 2月1日(土)～4月30日(水)

※MOBIRY DAYSの登録も可能です。

上記のほか、実証実験期間中、広島電鉄(株)と共同した臨時窓口の開設を予定しています。